

43号

題字 上地小
5年 吉見元貴



がんばれ おじやる丸

選手宣言

岡崎市現職教育委員会 特殊教育部会

平成12年12月8日発行



障害者を知る学習

六ツ美西部小学校長

渡辺勝英

最近、障害者に関する理解を深める活動が、社会のいろいろなところで行われるようになってきたことはたいへん喜ばしいことである。

本校では、六年生が福祉教育の一環として、養護学校との交流やお年寄りとの触れ合いを積極的に行っている。先日、障害のある方々を講師に招いて、福祉教室を開いた。子供たちから出た質問に講師の方がそれぞれ立場から答えるという形で学習が進められた。

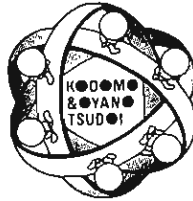
「体が不自由で最も大変なことは何ですか」「私たちにどういうふうに接してほしいですか」「町の施設で、あつたらいいなと思うものは何ですか」等の率直な質問が途切れることなく続いた。講師の方々は「障害者をかかわりそうという目で見ないでほしい。自分でできることは自分でしたい。助けてほしい時だけそつと手を貸してほしい」などと笑顔で分かりやすく答える。健常児が障害者とどう向き合ったらよいのかを考えさせる「障害者を知る学習」が生き生きと展開されていった。学習する中で「このような障害を持つている人には、こんな手助けがいる」とか、「このような表現はこういう意味があるのだ」というような、その障害の理解へ一歩でも近づけるような思いが子供たちの心に芽生えてきたように思う。

学校教育の場でも、健常児が障害児を一人の人間として尊重し、正しく理解し、その環境を大切にすることが、社会全体のノーマライゼーション（誰もが暮らしやすい社会をもとめる動き）をも可能にすると思う。

プログラム

- 1. いち、にの、さんぽ (全員)
- 2. ドラゴンにのせろ! (全員)
- 3. デジモンかけっこ (小高)
- 4. 大玉コロコロ (中親)
- 5. キティちゃん 岡崎へ (小低)
- ▲ おべんとう ▲
- 6. 葵・徳川岡崎城 (中)
- 7. がんばれ おじゃる丸 (小親)
- 8. 徒競走 (中)
- 9. アイイヤのジェンカ (全員)

第18回
子どもと親の集い運動会



平成12年9月13日
岡崎市中央総合
公園体育館

市内の小中学校の子供たちと、温かく見守る保護者の方、先生方が集まって、盛大に運動会が行われました。子供たちは生き生きとした表情で力いっぱい演技していました。また、友達を応援する姿も見られました。今年は午後から新任の先生方が、お手伝いにかけてくださいました。



大玉コロコロ

親の声

初めて参加して

緑丘小 山本 栄子

学校中の先生を振りまわしている晃佑。今日は、どんなことをしてくれるかな。そんな親の心配をよそに、立派に入場行進。大好きな「さんぽ」に合わせて体操。ドラゴンめがけて玉入れ。キティちゃんめがけてかけっこ。日ごろのリヤカー引きの成果を発揮したがんばれ、おじゃる丸。我が子の元気な声、笑顔を見ているうちに引きつっていた顔もいつの間にか緩んでいました。親子ともに楽しい一日を過ごすことができ、企画に当たられた方々に感謝いたします。ありがとうございます。

子供の声

緑丘小 山本 晃佑

ぼくは、ちゅうがくせいのおにいさん、おねえさんが、はしつているときに、おおきなこえでおうんをしたらよ。みんなが「おうえんだんちよう、がんばれ。」といってくれたよ。



がんばれ!がんばれ!

教師の声

子供つていいなあ

上地小 鈴木 基之

私はけやき学級の子と、向き合つて接したことがなかったもので、とてもよい機会になりました。

担当した子供があつちに行くたびに追いかけて大変でしたが、一緒に競技したときの笑顔が今も忘れられません。「子供つていいなあ」と再実感することができました。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。

子供の声 ドキドキしたジャンケン

竜南中 米津 有子

私は、ジャンケンが弱くてすぐに負けてしまいます。だから「アイイヤのジェンカ」では、がんばつて、たくさん勝つてやろうと思いました。



アイイヤのジェンカ

最初は、同じ学校の愛佳さんとやり、次は竜海中の人とやり、続けて勝ちました。そのまま調子よく、四人目まで勝ち抜いていきました。このまま最後まで、勝てそうな気がしました。五人目は、緑丘小学校の男の子でした。何を出そうかと、一生けんめい考えて、チヨキを出したら、負けてしまいました。

最後の最後に負けてしまったのが、とても悔しく残念でした。来年は、全部勝ちたいと思いました。

うれしかったうんどう会

矢作東小 佐藤 ゆかり

九月十三日、ちゅうそうのたいいくかんで、おや子うんどう会がありました。

デジモンかけっこをしました。わたしは、一いになりました。わたしは、みんなに、「ゆかちゃん、はいいね。」といわれました。

うれしかったです。

はじめてのうんどう会

根石小 小野寺 遼

ぼくは、うんどう会でプラカードをもちました。どきどきしながらこうしんしているとお母さんが手をふつてくれました。

デジモンかけっこに出ました。一とうになるうとおもつてダッシュで走りました。ゴールをしたらメダルをもらいました。はじめてのうんどう会うれしかったです。



デジモンかけっこ

岡崎養護学校

について

愛知県立岡崎養護学校長

黒野 勇

本校は小学部七九名、中学部五
一名、高等部五二名、合計一八二
名の児童生徒が在籍しています。

東隣には第二青い鳥学園（医療
機関）が設置されており、教育と
医療と福祉が連携しております。

西三河全域が学区となつてお
り、知立、碧南、刈谷、西尾の四
コースにスクールバスを運行して
います。

脳性まひ、筋ジストロフィー症、
交通事故後遺症等の障害を有する
児童生徒並びに、小中学校に在籍
中ベルテス等で第二青い鳥学園で
治療・訓練を受けて、短期間で地
元の小中学校へ戻っていく児童生
徒もいます。

教育内容は、障害の種類と程度
に応じて指導計画をⅠ～Ⅳ類型の
四コースに分けて編成しています。

Ⅰ類型は、小中等学校で学習
する内容と同じ教科書を使用し勉
強します。

Ⅱ類型は、下学年の教科書を利用
して勉強します。

Ⅲ類型は、生活単元学習（身の
まわりの題材を用いた総合的な学
習）や作業学習、基本的生活習慣
の確立を旨とした勉強をします。

Ⅳ類型は、運動と姿勢保持の改
善、身体の移動能力の向上、健康
の保持を中心とした学習を行います。

交流教育活動として、岡崎市立
本宿小学校とは昭和五十六年度よ
り、東海中学校とは昭和六一年度
より、県立岡崎東高等学校とは平
成三年度より交流を行っています。

「出会い、触れ合い、思いやり」
をテーマにして取り組んでいます。

盲・聾・養護学校が地域の教育
センターとしての機能を果たすべ
く人材の育成と施設・設備の開放
に努力しています。本校では、特
に肢体不自由児の早期教育相談を
積極的に行っています。

地域に開かれた学校作りを旨と
し、体育大会や文化祭などの学校
行事では、地域の皆様や同窓会、

交流相手校など多数の皆様のこ来
校をお待ちしています。また、卒
業後の進路に係る関係諸機関（職
安、各市町村の福祉課等）の方々

も見学を併せて来校されます。

映画鑑賞会

岡崎中央ライオンズクラブ招待



「スチュアート・リトル」「プー
さんの贈りもの」などの中から、
子供たちが興味のある映画を学
校ごとに選んで鑑賞させていた
できました。

七月十日から八月四日までの
間、岡崎中央ライオンズクラブ
様とツイエインターテイメント
コーポレーション様のご厚意で
小中学校の子供たちが映画を楽
しましました。
「おもしろかったね。」
「また、来たいね。」
といった声も聞かれました。

社会見学

岡崎ライオンズクラブ招待



三島小2年 村尾 藍

名古屋港水族館へ

十月四日に、岡崎ライオンズ
クラブ様の招待で、百四十九名
の小學生が名古屋港水族館に行
きました。

ポートビルや南極船ふじ、水
族館を見学しました。かめ、ベ
ンギンが人気でした。時間が足
りないくらい満足の日でし
た。

また、十五日には、グラランド
ポップスオーケストラ定期演奏
会に小中学生とその家族が二百
五十名ほど招待されました。楽
しいひとときとなりました。

学級スナップ だんご作りに挑戦

東海中学校8くみ



この春に開設された八くみ。初
めはみんな初対面ということもあ
つて、おっかなびっくりのよう
でしたが、今では何でも言い合
えり、和気あいあいとしたクラス
です。

十月の授業参観でだんご作り
に挑戦しました。

三年生は大変よく一年生の面倒
を見てくれます。この日もてきば
きと作業を進め、時間内においし
いだんごをお母さんたちと一緒に
食べることができました。大きな
だんご、まんまるなだんご、おせ
だんご、まんまるなだんご、おせ
だんご、まんまるなだんご、いろん
な形のだんごがあるように、粉をこ
ねるのが上手な子もいれば、段取
りよく道具を出し入れできる子も
います。そんな七人が助け合っ
て八くみを形作っています。

博報賞 受賞報告

岡崎市現職教育委員会特殊教育部が第三十一回博報賞を受賞した。十一月十日に、東京の如水会館にて贈呈式が行われた。

この賞は、財団法人博報児童教育振興会から、小・中学校における「国語教育・日本語教育」「特殊教育」「伝統文化教育」「国際理解教育」の四部門で、すぐれた研究教育」の四部門で、すぐれた研究

究と実践をした団体・個人に贈られるものである。

「永年、市内の特殊学級担任を中心に積極的に研究を行って

る。特に、学習指導案とその実践をまとめた『研究集録』は幅広く

活用されている。また、『子どもと親の集い運動会』を開催して交

流や理解・啓発の部門を設けた

り、就学に向けての教育相談をは

じめ、官・民・学校が一体となつて進路指導の充実を図るなど、地

域に根ざした活動に取り組んでい

る。」「審査員の評より）以上のよ

うに、本部会の活動が評価されて

の受賞である。

ができました。宿泊学習では、い

供たちが感じ取り、学んでいる

に違いないと、参加するたびに

思ったものです。その準備のた

めにお互いに知恵を出し合い、

受賞を祝して

有我亮介

まず、子供たちの思いを生かした授業実践の数々。個々の授業としても優れています。その一つが次の授業へと深まった。他の学級の授業へと広がります。先生の期待する以上のものを子供たちが大きな集団の中で、一緒に競い合ったり、負けまいとして意欲をもちたりする場がほかにあるでしょうか。



第三十一回博報賞受賞おめでとう。ごい。特殊教育に携わった一人として大変うれしく思います。受賞の知らせを聞いていろいろなことが思い出されました。

次は「子どもと親の集い運動会」。子供たちが大きな集団の中で、一緒に競い合ったり、負けまいとして意欲をもちたりする場がほかにあるでしょうか。

昭和六十三年の岡崎市教育文化賞受賞に続く博報賞受賞を心からお祝いたします。さらなる充実と発展をお祈りします。

私の教室日記

Aくんといっしょに

広幡小 交流学級担任
藤原 千恵美

「イツ・テ・キ・マ・ス」
「いつてらっしやい」
Aくんが六の五に出かけていく（本当は帰っていく）時間になると繰り返されるこのやりとり。いつもはうるさい子供たちも、この時ばかりはしんと静まり返って耳を澄ませる。
Aくんは自閉症で、自発言語は今もほとんどない。でも友達言葉はかなり理解でき、彼の言いたいことも表情から伝わってくる。ちよつと手伝つて教えてあげれば給食当番も係活動もできる。初めは「先生、Aくん給食当番だから呼んでくるね」「Aくん、替えるよ」と世話をしていた子供たちも「当番だよ」とエプロンを渡すだけになった。そでが裏返つて悪戦苦闘しているとそつと手伝つたりするけれど、『みんな遊ぶ日』、ドッジボールのコートからふらふら出ていつてしまうAくんを「こつちだよ」と誘つたり守つたり、時には、ポコンと当ててアウトにしたり。（このアウトをAくんは喜んでい



る。)
Aくんがニコニコしている。「Aくんご機嫌だね」「これ好きなんだね」とみんなもニコニコ。気持ちがほんわか温かくなる。毎日一緒にいるから、言葉はなくても気持ちには伝わる。Aくんがいてくれるから優しい気持ちになれる。廊下からAくんの声が聞こえる。「Aくん、おかえり」

ご厚志

- 岡崎ライオンズクラブ様
- 子どもと親の集い運動会 参加賞
- 小学校特殊学級社会見学 絵画表彰
- 岡崎グランドポププス
- オーケストラ定期演奏会招待
- 映画鑑賞会招待